

広島でのヨハネ・パウロ二世

前回、山口市仁保に  
あつたため、その後、  
ある観想修道会カルメ  
ル会のシスター、長康  
子さんの「原爆体験  
記」について書いた。

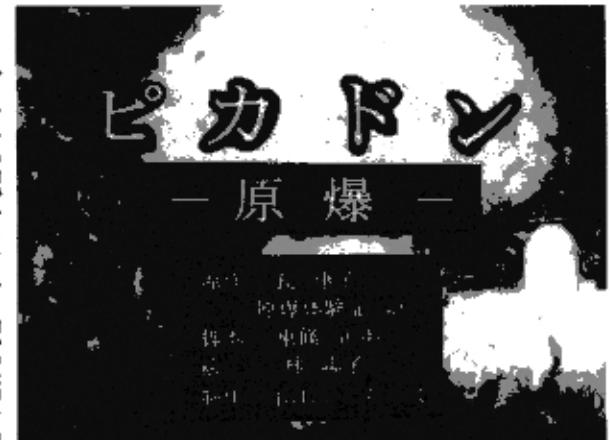
彼女は十四歳の時、  
広島で被爆し、両親を  
はじめ家族四人を失  
う。余りに過酷な体験

であつたため、その後、  
このことについては一切  
口を閉ざしたままだつ  
た。一九八一年、来日し  
た故ヨハネ・パウロ二  
世は、被爆地・広島で  
「平和メッセージ」を発  
信する。「戦争は人間の

## ヨハネ・パウロ二世 (修道誓願六十年(下))



サビエル生誕五百年

藤屋 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

「原爆体験記」は紙芝居と絵本に

書かれ  
た。

当時

私は山  
口いの  
ちの会

の役員

をして  
いたが、

シスター

の原  
爆体験しま  
わざです。戦争は人  
間の命の破壊です。戦  
争は死です」。この言葉は、宗教の枠を超えて  
多くの人に共感を与えた。故東篠正年さん(座頭  
市)のシナリオライターとして有名)と相談し、  
シスターの了解を得て

紙芝居を制作する。

「ビカドン原爆」は

好評で、遠く盛岡に住む婦人から「紙芝居を

絵本にさせてほしい」という連絡が届く。

こうしてシスターの

にもなった。

「原爆体験記」は絵本

しかし、現実はとい

えば、残念ながらシス  
ターの意に反してい特別な思いがあつたに  
違ひない。被爆から六  
十三年後の修道誓願  
五十年を機に沈黙を  
破り「原爆体験記」を兵器禁止運動をと思  
うのだが、核兵器禁止  
条約に加盟すらしてい  
ない。広島、長崎に原子爆  
弾が投下され、約三十  
万人が尊い命を失った。太平洋戦争終結から間  
もなく七十二年を迎  
えるが、被爆者は高齢化  
し、被爆体験も風化していい。シスターの「原爆  
体験記」の一番最後に  
「明日への伝言」という  
歌が載っている。「子供たちに伝えよ  
う 愛を生きる知恵  
を。あの日の広島を、長  
崎の出来事を。焼けただれた顔たち  
が叫び続け  
てはいけないと」故ヨハ  
ネ・パウロ  
二世は「空  
飛ぶ教皇」と呼ばれ、

「原爆体験記」は絵本

自分の被爆体験を通  
じて核兵器廃絶を訴え  
られる。神の目にはど  
ちらも同じ価値のある  
尊いものだろう。故ヨハネ・パウロ二世  
には私も直接お会いし  
た。来日された時、たま  
た教会の役員をして  
いたので、東京で妻と長  
男の三人で謁見する。教皇は長男を抱きあ  
げ、額に接ぶんされた。お二人の意志を少し  
でも実現させるため何  
か役立ちたいと思う。度と地獄の  
苦しみを許  
してはいけてはいる。二  
島で教皇のメッセージ  
を聞いた。とりわけ広  
島で被爆したシスター  
I、長さんにとっては

東京での教皇謁見

て核兵器廃絶を訴え  
続けた。一方、シスター  
I、長さんは修道院と  
いう団体の中で、今も自分の被爆体験を通  
じて核兵器廃絶を訴え  
られる。神の目にはど  
ちらも同じ価値のある  
尊いものだろう。広島、長崎に原子爆  
弾が投下され、約三十  
万人が尊い命を失った。太平洋戦争終結から間  
もなく七十二年を迎  
えるが、被爆者は高齢化  
し、被爆体験も風化していい。シスターの「原爆  
体験記」の一番最後に  
「明日への伝言」という  
歌が載っている。「子供たちに伝えよ  
う 愛を生きる知恵  
を。あの日の広島を、長  
崎の出来事を。焼けただれた顔たち  
が叫び続け  
てはいけないと」故ヨハ  
ネ・パウロ  
二世は「空  
飛ぶ教皇」と呼ばれ、

「原爆体験記」は絵本

自分の被爆体験を通  
じて核兵器廃絶を訴え  
られる。神の目にはど  
ちらも同じ価値のある  
尊いものだろう。故ヨハネ・パウロ二世  
には私も直接お会いし  
た。来日された時、たま  
た教会の役員をして  
いたので、東京で妻と長  
男の三人で謁見する。教皇は長男を抱きあ  
げ、額に接ぶんされた。お二人の意志を少し  
でも実現させるため何  
か役立ちたいと思う。度と地獄の  
苦しみを許  
してはいけてはいる。二  
島で教皇のメッセージ  
を聞いた。とりわけ広  
島で被爆したシスター  
I、長さんにとっては

東京での教皇謁見